

Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行(No.217)

三河港湾事務所だより

2025年10月号



「みなとオアシス伊良湖」が誕生！

9月13日（土）に田原市にある伊良湖緑地において、「みなとオアシス伊良湖」の登録証交付式が開催されました。「みなとオアシス伊良湖」は全国169カ所目、愛知県内で3カ所目のみなとオアシスとなります。

登録証交付式では、山下田原市長より「みなとオアシス伊良湖の登録を契機に伊良湖地域の更なる発展に取り組んでいきたい」と式辞が述べられました。続いて、登録証の交付者である安部港湾局長より「みなとオアシス伊良湖は交通・地域の賑わい・防災の点で期待されています。地域の核となり、更なる賑わいの創出に繋がるよう協力をさせて頂きたい」と挨拶が述べられました。その後、安部港湾局長から山下田原市長へみなとオアシス登録証が交付され、中原副局長から長神みなとオアシス伊良湖運営協議会会長へのぼり旗が手渡されました。



山下 田原市長



安部 港湾局長

登録証交付式当日は、トライアスロン伊良湖大会開会式が同時開催され、地元の方々を始め、多くの方々に見守られながらの開催となりました。



登録証交付式 記念撮影の様子



道の駅伊良湖クリスタルポルト



伊良湖菜の花ガーデン



伊良湖みなとフェスタ



トライアスロン伊良湖大会

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、国土交通省港湾局が登録するものです。

「みなとオアシス伊良湖」は、代表施設である「道の駅伊良湖クリスタルポルト」を始め、「伊良湖菜の花ガーデン」や「ナショナルサイクルルート太平洋岸自動車道」などの施設で構成されています。また、各構成施設では、地域の方々が参加するステージイベントや地元食材を使用したキッチンカーの出店、三河湾特別クルーズ等が行われる「伊良湖みなとフェスタ」や、市内外から約1,000名が参加する「トライアスロン伊良湖大会」など様々なイベントが開催され、子供から大人まで多くの方で賑わいます。

みなとオアシス伊良湖の登録を契機に、このような住民参加による地域振興の取組が継続的に行われ、地域住民の交流促進や地域の魅力向上に繋がることが期待されます。

三河港湾事務所ホームページ <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>
三河港湾事務所公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>



みかわこうわん

三河港湾

検索



国土交通省 中部地方整備局

三河港湾事務所

公式Facebookページ





「しおさい」と「白龍」

8月31日（日）、愛知県と田原市が実施した「総合防災訓練（海上訓練）」に三河港湾事務所所属の港湾業務艇「しおさい」や名古屋港湾事務所所属の海洋環境整備船「白龍（はくりゅう）」が海上保安庁、自衛隊（陸海空）と共に参加しました。

訓練では、大規模地震を想定し、漂流物回収などの航路啓開、空中から投下された支援物資の回収・輸送、多機関による協力体制の確認などを実施し、防災力の強化や防災意識の向上を図りました。

三河港湾事務所では、この訓練で得られた経験を活かし、港と地域の安全を守る取り組みを続けていきます。

メルセデスベンツVPCを見学をしました

三河港は自動車の輸入台数及び輸入額で32年連続第1位となっています。その理由として、背後にVPC(Vehicle Preparation Center)と呼ばれる、海外から運ばれてきた自動車を整備して全国に届ける施設が複数立地していることが挙げられます。今回はその1つである、メルセデス・ベンツのVPCを見学しました。

メルセデス・ベンツのこのようなVPCは全国で2箇所（日立・豊橋）立地し、この豊橋VPCでは年間約2万台の整備が行われています。

見学では初めに、最近発売した特別使用車の展示がされており、とても印象的でした。整備工程では1台1台多くの人の手で丁寧な点検・整備が行われていました。特に外観検査時では、LEDでは光が強く検査に不向きのため、蛍光灯を利用するという話も伺い、とても丁寧に検査をされていることを実感しました。



「渚の交番 UMICAN」オープンから1年



蒲郡市の「渚の交番 UMICAN（うみかん）」が、オープンして、ちょうど1年。節目を迎えた今の思いを代表理事の原田さんに伺いました。

—1年を振り返ってみていかがですか？

「本当にあっという間でした。子どもたちが海に親しめるようにと活動を続けてきましたが、気づけば沢山の笑顔に出会えました。最近では、蒲郡だけではなく、豊川や名古屋からの参加者も増えてきました。」

—人気のプログラムは？

「地魚ふれあい教室ですね。すし職人体験ができるのですが、子どもたちが目を輝かせながら魚をさばいたり、握ったりする姿が印象的です。地元の魚を知り、味わうことで自然と海を大切に思ってもらえるんです。」

—今後に向けて

「もっと多くの人に海の魅力を知って欲しいです。地域の方と一緒に、新しい取り組みにも挑戦していけたらと思っています。」

海と人をつなぐ拠点として、UMICANの挑戦はまだまだ続いています。



代表理事の原田さん

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おおいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※ 9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

国土交通省
中部地方整備局



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>